

製品名 : トナー(ドラム/トナーカートリッジ封入品)

発行日 : 2001.06.01

1. 化学物質等及び会社情報:

製品名 : トナー(ドラム/トナーカートリッジ封入品)
 使用機器 : V-2000 商品コード : DT70C/DT80C/TS50C
 会社名 : 村田機械株式会社
 住所 : 〒612-6868 京都市伏見区竹田向代町136
 担当部門 : 情報機器事業部CSセンター
 電話番号 : 075-662-7719 FAX番号 : 075-662-7790

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 含有成分 : 下表に示すとおりである。

化学名	含有量(重量%)	CAS No.	その他情報
ポリエステル樹脂	> 90	+++	
カーボンブラック	1 ~ 5	1333-86-4	労働安全衛生法 通知対象物質 IARC グループ 2B 管理濃度 2.9 mg/m ³
ポリオレフィンワックス	1 ~ 5	+++	
有機顔料	1 ~ 5	+++	
無定型シリカ	< 1	7631-86-9	

+++ : 非開示情報

3. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
 危険性 : 粉体状の多くの有機系物質と同様に、空気中に分散された場合着火源により爆発することがある。
 有害性 : 特になし。
 環境影響 : 特になし。

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
 皮膚に付着した場合 : 石けんを使って水でよく洗い流す。
 眼に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぐ。多量の水を飲ませる。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 供給源を遮断し、消火剤を使用して消化する。
 消火剤 : 噴霧水、泡、粉末状消化剤、二酸化炭素
 ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

製品名 : トナー(ドラム/トナーカートリッジ封入品)

発行日 : 2001.06.01

度)

(11. 有害性情報 のつづき)

慢性毒性 : ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日中用量(4 mg/m³)もしくは高用量(16 mg/m³)の暴露環境にさらされていた群で肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m³)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社製品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日あたり1 mg/m³を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは、人体への影響はないと判断している。¹⁾

がん原性 : カーボンブラック(CB)は、国際がん研究機関(IARC)によって、“グループ2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)”に分類される。しかしCBを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発がんの証拠なし」の結論を得ている。¹⁾なお、CB以外の構成成分は発がん物質^{文献1}に該当しない。

変異原性(微生物、染色体異常) : Ames試験 陰性

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 特になし。

1)類似物の試験結果からの予測。

12. 環境影響情報

データなし。

13. 廃棄上の注意

国の法律または都道府県、市町村の条例に従って、産業廃棄物として廃棄して下さい。

トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないで下さい。トナーが飛び散り、やけどをする可能性があります。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当せず。 国連番号 : 該当せず。

15. 適用法令

トナーとしては適用法令無し。(対象法令:化審法、労安法、消防法、毒劇法)

構成成分に関しては、2.組成、成分情報欄に記載。

16. その他の情報

本化学物質安全性データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分ご注意下さい。また、内容を当社の許可なく一方的に改訂・使用され、何らかの事故が発生した場合には、当社はその責任を負いかねますのでご了承下さい。

引用文献

文献1 : IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans(IARC:国際がん研究機関)

: 日本産業衛生学会誌(日本産業衛生学会)